



OMESOGO

愛されるチームに。愛される人に。



2023/5/4

都立国立高校に敗れる

2023年4月30日（日）、高校総体都西支部予選**2回戦**に挑みました。2回戦の相手は**都立国立高校**です。国立高校は10番のキャプテンを中心に、選手同士で声をかけあいながら自分たちで考えながら戦うことのできる非常に良いチームです。技術的にも、身体的にも、青梅総合よりも勝るチームを相手に、どのように戦うことができるか、初戦からの1週間、考えながら準備を進めました。試合直前の木金は1年次がフレッシュマンキャンプ、さらに金曜は2,3年次が遠足と、行事が入りましたが、それを言い訳にしないように**チームとしての戦い方**をしっかりと落とし込み、前日に良い調整をして当日を迎えます。

初戦の中大附属戦の勢いそのままに、良い集中で試合に入ります。相手がスピード・パワーのある選手たちだということは確認していたため、**DF陣を中心**にしっかりと組織で対応します。守備の時間が多いながらも、ボールキープをしながら相手陣内深くまで攻めこむ場面も作ります。しかし前半18分、国立高校に押し込まれてコーナーキックを与えます。キッカーの素晴らしいボールと、国立3番の選手の打点の高いヘディングで、見事なゴールを奪われます。組織で十分に対応できていた分、なんとか跳ね返したい場面でしたが、残念ながら失点をしました。

初戦からの勢いもあり、少し自信をつけていた青梅総合選手たちに焦りができます。そこを見逃さず、前半22分に国立18番の選手が、青梅総合DF陣2人に対応されながらもしっかりとシュートを振り抜き、2点目を奪われます。バタバタが続き、その直後にまたペナルティエリア内で相手を倒してしまい、PKを献上。前半で3失点はかなり厳しくなるどころ、初戦から当たっている**GK1番がファインセーブ！**ここで息を吹き返し、選手たちもなんとかピッチ内で声をかけあい、自分たちを**鼓舞**します。そのまま集中して戦い、0-2で前半を終えます。

ハーフタイムで我々ができることを再確認し、逆転勝利に向けて、攻撃的なシステムに変更して後半に挑みます。冷静に自分たちと相手との差を把握しながら、個の力の差を**組織でカバー**する、チームで戦ってなんとかひっくり返そうと選手たちは必死に戦います。

攻撃的なシステムにより、青梅総合の攻撃の場面も増えます。しかし国立高校も要所でしっかりと集中して対応してくるため、なかなか決定的な場面にはなりません。次の1点が試合を大きく左右するため、なん

とか1点を奪いたいところでしたが、なかなか奪えず時間が経過していきます。後半20分、そこまで集中して対応してきた右サイドが少し緩んでしまったところ、国立高校に崩されついに3点目を許します。後半24分に4点目を奪われますが、チームとしては**最後まで戦い切ろう**と、全力で立ち向かいます。相手の方が強いことは百も承知、まずはとにかく1点奪おうとチーム全員で最後まで声を出して戦いきりましたが、最後まで得点は奪えず、試合終了。

結果としては0-4で完敗でしたが、**選手たちは非常によく頑張ってくれました**。選手それぞれがこの2試合で感じたことがあると思います。3年生が少なく、2年生主体のチームです。この悔しさをバネに、今後また練習を重ねて、より強く逞しいチームになれるよう頑張っていきます。

こんな小さなチームでも、大きなチームに立ち向かっていける、**ジャイアントキリング**を起こせる、そう信じてまた日々を積み重ねていきますので、今後とも応援よろしくお願いします！

